

第54回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第54回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

現況のDI値は、農業については販売価格の高騰等により景気が持ち直しているが、急激な悪化がみられる製造業を筆頭にマイナス値が継続している業種が多い。
今後10月から12月にかけての見通しについては、観光業で「国スポ・全障スポ」等により人の動きが活発になることへの期待感がある一方で、最低賃金のアップに伴う人件費高騰や物価高騰の影響で、ほとんどの業種で見通しが立たない状況が続いている。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

令和6年9月調査

	前回調査		今回調査			
	A 現況 (R6.6)	見通し (R6.7-9)	調査数	B 現況 (R6.9)	(B-A)	
					前回現況 との対比	見通し (R6.10-12)
総合	-22	-6	75	-28	-6	-12
農業	0	43	8	25	25	0
建設業	-60	-42	6	-50	10	-33
製造業	-20	-20	9	-67	-47	-22
卸売・小売業	-43	-11	22	-36	7	-14
観光業	-9	-9	10	-20	-11	20
飲食業	0	25	4	0	0	0
サービス業	-22	8	16	-25	-3	-25

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査方法 オンラインアンケート、FAX、電話等による調査
- 調査内容 (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
(2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、
-40となります。
「DI」(Diffusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

武雄市 営業部 商工課

〒843-8639

武雄市武雄町大字昭和12番地10

TEL:0954-23-9210 FAX:0954-23-3816

E-MAIL:syoukou@city.takeo.lg.jp